

決算報告書

(第4期)

自 平成28年 8月 1日

至 平成29年 7月31日

alokahiホールディングス株式会社

愛知県名古屋市中区錦
3-19-30

電話 : 052 - 364 - 6066

貸借対照表

平成29年 7月31日 現在

alokahiホールディングス株式会社

(単位： 円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	851,279	【流動負債】	844,876
現金及び預金	718,085	短期借入金	743,376
商 品	121,944	未払法人税等	101,500
未 収 収 益	11,250	【固定負債】	42,314,576
【固定資産】	52,301,581	長期借入金	42,314,576
【有形固定資産】	50,514,460	負債の部合計	43,159,452
建 物	34,430,309	純 資 産 の 部	
建 物 附 属 設 備	10,204,151	【株主資本】	9,993,408
土 地	5,880,000	資 本 金	9,990,000
【投資その他の資産】	1,787,121	利 益 剰 余 金	3,408
投 資 有 価 証 券	1,787,121	その他利益剰余金	3,408
		繰越利益剰余金	3,408
		(うち当期純利益金額)	3,571,897
		純資産の部合計	9,993,408
資産の部合計	53,152,860	負債及び純資産合計	53,152,860

注 記 表

alokahiホールディングス株式会社

重要な会計方針に係る事項に関する注記

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

(a) 有価証券の評価基準及び評価方法

ア 時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法（評価差額は全部純資産直入法によって処理し、売却原価は移動平均法により算定しています。）

イ 時価のないもの

移動平均法による原価法

(b) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

個別法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を採用しています。

(2) 固定資産の減価償却の方法

(a) 有形固定資産

定額法（ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を含む）は定額法）を採用しています。

(b) 無形固定資産

定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

貸倒引当金債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上していません。

(4) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

(a) リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

なお、未経過リース料総額は、0千円であります。

(b) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

3. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額（直接控除法による） 今期償却額は、2185千円（うち建物689千円）であります。

開業費については、開業から4期目にあたり今期一括償却を行いました。今期償却額は、534千円であります。

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数 999

(2) 当該事業年度の末日における自己株式の数 0

5. 重要な後発事象に関する注記 なし